

令和2年度 第3回芽室町総合教育会議

日 時 令和3年2月25日（木） 13時15分から14時40分まで

場 所 教育委員会会議室

出席者	芽室町長	手島 旭
	教育委員会 教育長	程野 仁
	教育長職務代理者	西村 嘉博
	委 員	鳥本 和宏
	委 員	福井 栄子

(事務局)	学校教育課長	有澤 勝昭
	社会教育課長	日下 勝祐
	企画財政課長	石田 哲
	企画財政課企画調整係長	我妻 修一

議事録

1 開会

要綱第4条に基づき、町長が議長になり進行

2 議題

(1) 芽室町地域・行政経営システムについて

手島町長から資料に基づき説明後、町長（議長）の進行で協議

西村委員 教育委員会として取り組みを点で見ていたものが線でつながっており非常に良いと思う。

役場職員の入れ替わりにより、10年前の芽室の姿を知らない職員も多くなっているが、町の景観も大きく変わっている。農村部ではG P Sによるトラクターの自動操舵が増え、無線受信の障害となることなどから防風林がどんどん切られている。

ゲートボールの普及活動は、交流にも役立つと思う。農家では多くの外国人実習生を受け入れているが、その福利厚生などにも活用できると思う。

手島町長 防風林は町としては増やしていく方向で考えている。

ゲートボールは非常に危機感を持っており、このままだと無くなってしまう。若い方への普及もあるが、他町では新しいゲートボール場を造成したことで、新たな高齢者プレーヤーが増えたとの事例もある。若い人に限らず、高齢者の競技人口増加も考えたい。温水プールの建て替えにあたり、敷地内にゲートボール場を作ることを事業者から提案を受けている。単にコートを造成するのではなく、若年層の育成に限定したものにするなど考えている。発祥の地だからこそ、発祥の地にしかできないことだと考えている。

- 鳥本委員 説明のあったフローは、大人から子供まで関係するとてもいいものだと思う。
景観に関しては、防風林が切られており、風を強く感じるようになった気がする。
どう守っていくかが大切だと思う。
コミュニティスクールに関しては、自分も食育の部分で関わっているが、行政だけではなく、地域、学校、行政、教育員会4者で取り組む必要がある。
子供たちの運動する環境の整備も必要。指導者不足を何とかしなくてはならない。
- 手島町長 少年団、中学校の部活、ともに指導者の問題は認識している。他町で昔、役場職員が少年団の指導にあたる仕組みに取り組んだことがある。本町でも考えたこともあるが、現在の業務量ではなかなか難しい。大きな課題である。
- 福井委員 フローにより、めむろ未来学からジモト大学への流れが明確になっている。
中学校の部活は運動部以外は吹奏楽しかない。ジモト大学を部活のような扱いにできないか。
町内会の問題は、役員の担い手不足にどこの町内会も困っている。若い世代の加入者が減少、未加入者が増えている。今の形のままでは難しいかも知れない。
- 手島町長 ジモト大学を部活のようにという発想はおもしろい。
町内会については加入率が低く大きな課題と捉えているが、役場職員が加入促進するわけにはいかない。あくまでも任意団体であるので、加入するかしないかは個人の判断になる。

（2）令和3年度予算について

石田企画財政課長より、令和3年度予算報道発表資料に基づき説明。

3 その他 特になし

4 閉会

14:40 終了